

分野	項目	番号	計画スタート時の現状値		計画スタート時の目標値 (H32年度)	H30年度時点の実績値	評価	R5年度の目標値	目標数値根拠	出典
生活習慣病の発症予防と重症化予防	①75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)	1	78.7	平成25年	73.9	73.2	☆	70.2	1年間で1% (1.1) 減。3年間で3%減を目標に73.2-3=70.2	①
	②がん検診受診率の向上									
	胃がん検診	2	23.2%	平成26年	40.0%	6.3	△	40.0%	国の目標値と同数値。	③
	肺がん検診	3	20.7%	平成26年	40.0%	6.0	△	40.0%	国の目標値と同数値。	③
	大腸がん検診	4	31.9%	平成26年	40.0%	11.5	△	40.0%	国の目標値と同数値。	③
	子宮頸がん検診	5	19.6%	平成26年	50.0%	7.2	△	50.0%	国の目標値と同数値。	③
	乳がん検診	6	33.3%	平成26年	50.0%	13.8	△	50.0%	国の目標値と同数値。	③
	①脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少 (10万人当たり)									
	脳血管疾患	7	22.2	平成25年	減少	35.4	13.2%増加	32.4	2.6% (5年間平均) /年であるが悪化したので改善困難として1年で1%減とする。35.4-3=32.4	②
	虚血性心疾患	8	60.1	平成25年	減少	42.6	17.5%減少	32.1	3.5% (5年間平均) /年×3年=10.5 42.6-10.5=32.1	②
	②高血圧の人 (140/90 mmHg以上) の割合の減少	9	32.7%	平成25年	減少	22.8	9.9%減少	17.1	1.98% (1.9%) (5年間平均) /年×3年=5.7 22.8-5.7=17.1	④
	③脂質異常症の人 (LDL160mg/dl以上) の割合の減少	10	男性13.0% 女性17.9%	平成25年	減少	男性12.4% 女性15.9%	男性0.6%減少 女性2.0%減少	男性 12.1 女性 14.7	男 0.1% (5年間平均) ×3年=0.3 12.4-0.3=12.1 女0.4% (5年間平均) ×3年=1.2 17.9-1.2=16.7	④
	④メタボリックシンドロームの該当者・予備群の減少	11	該当者14.1% 予備群10.4%	平成25年	平成20年と比べ 25%減少	該当者 14.7% 予備群9.0%	該当者 0.6%増加 予備群 1.4%減	平成20年と比べ 25%減少	特定健診等実施計画と同数値。	④
	⑤特定健康診査受診率・特定保健指導終了率の向上									
	特定健康診査受診率	12	33.6%	平成25年	60.0%	33.6	◎	60.0%	特定健診等実施計画と同数値。	④
	特定保健指導終了率	13	19.7%	平成25年	60.0%	31.8	◎	60.0%	特定健診等実施計画と同数値。	④
	①糖尿病が強く疑われる人 (HbA1c6.5%以上) の割合の抑制 (未治療者)	14	4.3%	平成25年	減少	3.2	1.1%減少	2.6	0.2% (5年間平均) ×3年=0.6 3.2-0.6=2.6	④
	②血糖コントロール不良の人 (HbA1c8.4% 8.0% 以上) の割合の減少 (糖尿病診療ガイドライン2016に沿って8.0にする。)	15	0.8%	平成25年	減少	0.9	0.1%増加	0.8	0.02% (5年間平均) /年×3年=0.06 0.9-0.06=0.84=0.8	④
③治療を継続している人 (前年度と当該年度共に服薬ありと回答した人) の割合の増加	16	79.7%	平成25年	増加	87.7	8.0%増加	92.5	1.6% (5年間平均) /年×3年=4.8 87.7+4.8=92.5	④	
④年間新規透析患者数 (国民健康保険加入者) の減少	17	9人	平成25年	減少	3人	6人減少	0人	年度によりバラつきがある。(H31は7名) 一人でも新規透析患者が出ないこと。	④	
①小学5年生の肥満傾向児の割合の減少	18	男子1.11% 女子1.18%	平成25年	0.0%	男子13.16% 女子8.57%	△	男 10.16 女 5.57	男 H29数値9.26→H30数値13.16 (3.9増) 1年間の数値を参考に目標設定することは無理がある。 1%減/年を目標に13.16-3=10.16 女 H29数値7.64→H30数値8.57 (0.93増) 1年間の数値を参考に目標設定することは無理がある。 男性と同様、年1%減を目標にする。	⑤	
②妊婦 (非妊娠時) のやせの人 (BMI18.5未満) の割合の減少	19	20.7%	平成26年	減少	15.60%	5.1%減少	12.6	1% (5年間平均) /年×3年=3.0 15.6-3=12.6	⑥	
③30~60歳代男性の肥満者、40~60歳代女性の肥満者の割合の減少	20	男性25.6% 女性16.1%	平成26年	減少	男性25.0% 女性14.0%	男性0.6%減少 女性2.1%減少	男性 24.6 女性 12.7	男 0.12% (5年間平均) ×3年=0.36 25.0-0.36=24.6 女0.424.6% (5年間平均) ×3年=1.26 14.0-1.26=12.7	④⑦	
①運動習慣がある人 (1日30分以上、週2回以上、1年以上継続) の割合の増加										
30歳代	21	15.2%	平成25年	20.0%	13.5	◎	20.0%	国は10年間で10%減としていたため+5% (20%を目標) としたが数値は低下。目標数値は引き続きとする。	⑦	
40~64歳	22	32.2%	平成25年	37.0%	28.9	◎	37.0%	国は10年間で10%減としていたため+5% (20%を目標) としたが数値は低下。目標数値は引き続きとする。	④	
①生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人 (1日当たりの純アルコール量 男性40g以上、女性20g以上摂取している人) の割合の減少	23	男性13.7% 女性 5.8%	平成25年	減少	男性14.1% 女性8.8%	男性0.4%増加 女性3.0%増加	男性 13.9 女性 7.0	男 0.08% (5年間平均) ×3年=0.2 14.1-0.2=13.9 女 0.6% (5年間平均) ×3年=1.8 8.8-1.8=7	④	
①成人喫煙率の減少	24	38.5%	平成26年	30.0%	10.1	☆	7%	国は10年間で7.5%減としており、当市は少し上乗せし8.5%減とした。H30数値から年1%減程度を目標に7%とした。	④	
②地区公民館・集会所の分煙の徹底	25	44.7%	平成25年	100%	82.5	◎		健康増進法改正により建物内禁煙義務化 (100%) となったため目標数値として数値は挙げない。	⑥	
①幼児期 (3歳児) のう歯のない児の割合の増加、学童期 (12歳児) の1人平均う歯数の減少	26	3歳児91.6% 12歳児0.4本	平成25年	3歳児 増加 12歳児 0.3本	3歳児 94.1% 12歳児0.3本	☆	3歳児95% 12歳児0.2本	3歳児：現状値のレベルが高いだけに100%にすることは現実的に困難。12歳児も同様の考え方で左記の数値とした。	⑤⑥	
②40歳における進行した歯周炎を有する人 (4mm以上の歯周ポケット) の割合の減少	27	16.7%	平成26年	減少	3.8	12.9%減少	2.0%	1年1%減にした時、受診者のうち1人も歯周炎の人がいない状態となってしまうので2%とした。	⑧	
①自殺死亡率の減少 (人口10万人当たり)	28	20.3	平成25年	減少	16.0	4.3%減少	減少	自殺予防計画では死亡率減少を目標としていないため「減少」という文言目標とする。	⑨	

出典 ①人口動態調査 ②東濃保健所資料 ③市がん検診 ④市特定健康診査関連 ⑤みずなみの子ども ⑥市健康づくり課実績
⑦市30歳代健診 ⑧市節目集団歯周病検診 ⑨東濃西部の公衆衛生
・がん検診の受診率(単年度)の算定にあたっては、40歳から69歳まで(子宮頸がんは20歳から60歳まで)を対象とする
・国の目標値を達成しているなどの項目は、増加・減少と表現

評価 ☆ 最終値が目標値を達成している
◎ 最終値が目標値の50%以上達成している
○ 最終値が50%未満を達成している
△ 最終値が悪化または低下している